



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年2月7日

上場会社名 株式会社 森組  
 コード番号 1853 URL <https://www.morigumi.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 裕司

問合せ先責任者 (役職名) 理財部長 (氏名) 黒飛 勝之

TEL 06-6201-5898

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	18,562	28.2	624	74.7	636	74.3	412	75.5
2019年3月期第3四半期	25,860	4.5	2,471	3.6	2,472	4.0	1,686	4.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	12.60	
2019年3月期第3四半期	51.49	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	23,464	11,783	50.2	359.81
2019年3月期	26,487	11,912	45.0	363.75

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 11,783百万円 2019年3月期 11,912百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				16.00	16.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期の期末配当金の内訳は、普通配当14円00銭、創業120周年記念配当2円00銭であります。

### 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,800	18.7	1,140	63.8	1,150	63.5	770	64.7	23.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	32,800,000 株	2019年3月期	32,800,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	50,302 株	2019年3月期	50,302 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	32,749,698 株	2019年3月期3Q	32,749,726 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報) .....	6
3. 補足情報 .....	8
四半期受注の概況 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、研究開発投資や人手不足による省力化投資の増加などを背景に、景気は緩やかな回復基調となりました。消費税率の引上げの影響で心配されていた個人消費についても、キャッシュレスポイント還元策など政府の需要平準化政策が、ある程度個人消費を下支えしており、景気は底堅さを保っております。一方、海外経済においては、米国の自国第一主義政策、米中の貿易摩擦問題の長期化、英国のEU離脱問題などの不安要因が多く、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、民間設備投資は緩やかに増加し、公共建設投資は堅調に推移するものの、建設費の動向や労働者不足に懸念のある状況が続いております。

このような状況の下、当第3四半期累計期間における経営成績は、工事受注高は14,162百万円（前年同四半期比21.1%減）となり、売上高18,562百万円（前年同四半期比28.2%減）、営業利益624百万円（前年同四半期比74.7%減）、経常利益636百万円（前年同四半期比74.3%減）、四半期純利益412百万円（前年同四半期比75.5%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (建設事業)

建設事業におきましては、受注高14,162百万円（前年同四半期比21.1%減）、売上高17,868百万円（前年同四半期比28.4%減）、セグメント利益1,242百万円（前年同四半期比59.5%減）となりました。

#### (不動産事業)

不動産事業におきましては、売上高25百万円（前年同四半期比14.6%増）、セグメント利益8百万円（前年同四半期比146.1%増）となりました。

#### (砕石事業)

砕石事業におきましては、売上高668百万円（前年同四半期比23.3%減）、セグメント利益38百万円（前年同四半期比35.3%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末比3,022百万円減少の23,464百万円となりました。この主な要因は、受取手形・完成工事未収入金3,294百万円の減少等によるものであります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末比2,893百万円減少の11,680百万円となりました。この主な要因は、支払手形・工事未払金等2,050百万円、未払法人税等836百万円及び賞与引当金219百万円の減少等によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末比129百万円減少の11,783百万円となりました。この主な要因は、四半期純利益412百万円の計上による増加と、配当金の支払いによる523百万円の減少等によるものであります。この結果、自己資本比率は50.2%（前事業年度末は45.0%）となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間における業績は、概ね計画通りに推移しており、前回発表（2019年11月8日）の業績予想に変更はありません。

また、2019年11月5日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました一部の大型工事で発注者の設計見直しを起因とした工期のずれ込みや工事休止等が発生した状況については、当第3四半期会計期間で工事再開の目処が立ち、年度末に向け順次工事が再開する予定であります。

なお、業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金預金	9,735	9,002
受取手形・完成工事未収入金	12,446	9,152
売掛金	226	197
未成工事支出金	20	29
たな卸不動産	0	0
商品及び製品	2	7
仕掛品	—	0
材料貯蔵品	45	43
その他	1,230	2,213
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	23,701	20,641
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物・構築物	1,110	1,114
機械、運搬具及び工具器具備品	1,878	1,905
土地	862	862
リース資産	114	104
減価償却累計額	△2,194	△2,272
有形固定資産合計	1,770	1,714
無形固定資産	42	61
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	353	334
長期貸付金	22	18
前払年金費用	392	527
繰延税金資産	51	—
その他	166	177
貸倒引当金	△14	△10
投資その他の資産合計	971	1,046
固定資産合計	2,785	2,823
資産合計	26,487	23,464

(単位:百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	10,401	8,351
短期借入金	900	900
未払法人税等	846	9
未成工事受入金	797	792
完成工事補償引当金	200	112
工事損失引当金	16	5
賞与引当金	219	—
その他	1,171	1,346
流動負債合計	14,552	11,518
固定負債		
繰延税金負債	—	147
その他	21	14
固定負債合計	21	162
負債合計	14,574	11,680
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,640	1,640
資本剰余金	202	202
利益剰余金	10,036	9,925
自己株式	△4	△4
株主資本合計	11,874	11,762
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	38	21
評価・換算差額等合計	38	21
純資産合計	11,912	11,783
負債純資産合計	26,487	23,464

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高		
完成工事高	24,966	17,868
碎石事業売上高	872	668
不動産事業売上高	22	25
売上高合計	25,860	18,562
売上原価		
完成工事原価	21,517	16,223
碎石事業売上原価	773	597
不動産事業売上原価	19	17
売上原価合計	22,309	16,839
売上総利益		
完成工事総利益	3,448	1,644
碎石事業総利益	98	70
不動産事業総利益	3	8
売上総利益合計	3,550	1,723
販売費及び一般管理費	1,079	1,098
営業利益	2,471	624
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	5	6
保険配当金	6	3
受取事務手数料	3	3
固定資産売却益	5	5
雑収入	5	4
営業外収益合計	26	23
営業外費用		
支払利息	20	11
支払手数料	4	0
雑支出	1	1
営業外費用合計	25	12
経常利益	2,472	636
税引前四半期純利益	2,472	636
法人税、住民税及び事業税	523	22
法人税等調整額	261	200
法人税等合計	785	223
四半期純利益	1,686	412

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			
	建設事業	不動産事業	砕石事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	24,966	22	872	25,860
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	4	4
計	24,966	22	876	25,864
セグメント利益	3,063	3	60	3,127

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,127
全社費用(注)	△656
四半期損益計算書の営業利益	2,471

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



Ⅱ 当第3四半期累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			
	建設事業	不動産事業	砕石事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	17,868	25	668	18,562
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	0	0
計	17,868	25	668	18,562
セグメント利益	1,242	8	38	1,289

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,289
全社費用（注）	△664
四半期損益計算書の営業利益	624

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## 3. 補足情報

四半期受注の概況

## (1) 受注実績

項目	受注高	
2020年3月期第3四半期累計期間	14,162百万円	△21.1%
2019年3月期第3四半期累計期間	17,938百万円	△4.1%

(注) ①受注高は、当該四半期までの累計額

②海外受注高はありません。

③パーセント表示は、前年同四半期比増減率

(参考) 受注実績内訳

(単位：百万円)

項目			前第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)		比較増減	増減率
			金額	構成比	金額	構成比		
建	土木	官公庁	7,973	44.5%	6,562	46.3%	△1,411	△17.7%
		民間	162	0.9%	221	1.6%	59	36.5%
		計	8,136	45.4%	6,784	47.9%	△1,351	△16.6%
設	建築	官公庁	242	1.3%	567	4.0%	324	133.7%
		民間	9,559	53.3%	6,810	48.1%	△2,749	△28.8%
		計	9,802	54.6%	7,377	52.1%	△2,424	△24.7%
業	計	官公庁	8,216	45.8%	7,130	50.3%	△1,086	△13.2%
		民間	9,721	54.2%	7,031	49.7%	△2,689	△27.7%
		計	17,938	100%	14,162	100%	△3,776	△21.1%

## (2) 受注予想

項目	受注高	
2020年3月期 通期予想	32,500百万円	△14.6%
2019年3月期 通期実績	38,048百万円	21.1%

(注) パーセント表示は、前年同期比増減率